

インターネットを利用した情報収集

愛知県林業センター 技術開発部 主任研究員 手塚 朗

1 はじめに

ここ数年で急速に普及してきたインターネットは、世界中のさまざまな機関や個人がその持っている情報を自由に発信することにより、全体として巨大な「百科事典」として機能しています。

これまで各研究機関では個別にデータベースを構築して研究の用に供してきましたが、情報の収集データベースの更新に多大な費用と労力がかかるため、インターネット上の情報を有効に利用することが求められています。

そこで、現在インターネットから森林・林業に関してどのような機関がどのような情報を発信しているかを探ってみることとしました。

2 インターネットとは・・・誕生と歴史

インターネットはひとことで言うと、「世界中のコンピュータをつなぐコンピュータ・ネットワーク」です。

インターネットは、一般に1969年アメリカの国防総省が構築したARPAnetが母体とされています。当初は大学や研究機関を結ぶネットワークとして発展していたのですが、1988年に商用インターネットサービスが開始され、一昨年くらいから日本でもインターネットとの接続を商売とするサービス・プロバイダーが増加してきました。特に昨年(H7)はインターネットの利用者が爆発的に増加した年でした。こうした経緯を東大の坂村健先生は「インターネットはアメリカで冷戦の軍事的副産物として誕生し、学術研究ネットワークとして発展し、冷戦終結後は商業化し、あっという間に世界に広まった。」とおっしゃっています。

インターネット、特にその上で動くアプリケーションであるWWW (World Wide Web) は、世界中のインターネットに接続されたコンピュータがそれぞれ情報を発信しあう、いわばギブ・アンド・テイクの関係で成り立っています。

3 インターネットへの接続

現在はインターネット関連の書籍や雑誌がたくさん発行されていますし、インターネットに接続するハード・ソフトを備えたパソコンが20万円程度で手に入るようになったので、それほど難しいものではなくなりました。

接続方法は個人の場合、NTTの電話回線を使うダイヤルアップ接続が一般的で、適当なプロバイダーと契約してIDを取得する必要があります。通信にかかる費用はプロバイダーに支払う接続料とNTTへの電話料金の合計ですから、アクセスポイントが近くにあるプロバイダーを選ぶのがコツです。インターネットマガジン等の雑誌に各プロバイダーの連絡先・料金・アクセスポイント等の詳細な情報が載っていますので、何社かに資料請求し、条件を比較して決めると良いでしょう。

インターネットを始めるのに必要なものを列記してみましょう。

- ①コンピュータ・・・Win95マシンまたはマッキントッシュ
(モデムが必要ですがこれも内蔵されたものが多くなりました)
- ②インターネットとの接続ソフトとWWWのブラウザソフト
(これも①と同じで内蔵されているものが多い)
- ③プロバイダーとの契約
- ④電話回線 (内線ではうまくいかない場合が多いようです)

4 URLとリンク

最近、新聞などでもhttp://www.……という横文字を目にすることが増えました。これは「URL」といって、ホームページの住所にあたるものです。

コンピューターをインターネットに接続した状態で、このURLをキーボードに間違いなく打ち込むのはなかなかやっかいなものです。WWWにはURLを打ち込まなくてもページのある特定の場所をマウスでクリックするだけで、別のページにジャンプする機能があって、これを「リンク」と言います。これによって世界中を自由に飛び回ることができるわけです。

5 林業関係のWWWサイト紹介

インターネットのホームページを公開しているサイトはそれこそ星の数ほどあって、林業関係ということにしても相当な数があり、日々増え続けています。そのいくつかを表-1に示しました。

「住宅と木材」H8・11月号にインターネットの特集があって、200件ほどのサイトが木材、木材加工機器、ハウスメーカー、工務店、設計事務所、輸入住宅、住宅部品メーカー、専門工事、リフォーム、リンク集、出版、団体、研究所、大学、その他に分類されていましたので参考にされると良いでしょう。

6 サーチエンジンと情報検索

インターネット上で自分が必要とする情報を探すのは、情報量が多すぎることから非常に困難です。そこでインターネットにはサーチエンジンとかディレクトリ・インデックスと呼ばれる情報検索サービスが提供されています。「花粉症」「酸性雨」といったキーワードを入れることで、対象となりそうなホームページを絞ることができます。

見たいホームページのURLがはっきりとは分かっていない場合、また、ある特定の分野について何か面白そうなサイトがないかと、ネットサーフィンするような場合には、このサーチエンジンに頼ることになります。しかし時間のかかる割りに有用な情報に行き当たることは少なく、この点でインターネットの有用性に疑問の声があることも事実です。

7 データベースサービス

国立国会図書館などの図書館では図書の検索サービスが、国立環境研究所・電力中央研究所などの研究機関では論文の検索サービスができるようになっています。また文部省の学術情報センターでは有料文献検索サービスを行なっています。

こうしたデータベース提供型のホームページはこれからどんどん増加することが見込まれます。ギブ・アンド・テイクのインターネットの精神からいっても当然のことで、公的機関でも情報公開とからんで積極的に持てる資料を公開・発信することが求められていくでしょう。

8 おわりに

今回はインターネットに興味を感じながらも、まだ実際に接続するところまではいっていない、というかた向けにインターネットの紹介ということで発表させていただきました。

愛知県は昨年10月1日にホームページを開設し、当林業センターもその中にささやかなページを作りましたが、予算・人員の厳しい折これからどう発展させていくかが課題となっています。

インターネットの可能性は無限であると同時に未知数のところが多いのですが、われわれ研究者の間でも電子メールやそれを利用したメーリング・リストが不可欠の道具になっています。今回の私の発表を契機に一人でも「面白そうだから、ひとつインターネットを始めてみようか」という方がみえれば、これにまさる喜びはありません。

表-1 いろいろなWWWサイト紹介

NTT Directory http://navi.ntt.jp/	NTTが運営している検索サービス 登録情報数 10万件
Open Text Index http://www.jp.opentext.com/	フリーキーワード入力の全文検索が特徴
YAHOO! JAPAN http://www.yahoo.co.jp/	トップ14カテゴリーから次第に細かく分類されるディレクトリ・ページと文字列検索
農林水産省 http://www.maff.go.jp/	研究成果情報データベース検索あり
国立国会図書館 http://www.ndl.go.jp/	和図書検索サービスあり (約10万件)
岐阜県図書館 http://smile.pref.gifu.jp/library/	図書検索サービスあり (55万冊)
森林総合研究所 http://ss.ffpri.affrc.go.jp/index-j.html	研究成果報告データベースあり
国立環境研究所 http://www.nies.go.jp/index-j.html	研究発表論文データベースあり
学術情報センター http://www.nacsis.ac.jp/nacsis.index.html	有料文献検索サービスあり
電力中央研究所 http://criepi.denken.or.jp/index-j.html	報告書検索サービスあり
名古屋大学 http://www.nagoya-u.ac.jp/index.html	農学部博士学位論文リストあり
三重大学 http://www.mie-u.ac.jp/japanese.html	
岐阜大学 http://www.gifu-u.ac.jp/	
富山県林業技術センター http://www.fes.pref.toyama.jp/	スギ花粉情報 (日替り) あり
石川県林業試験場 http://www.pref.ishikawa.jp/ringyo/00.htm	花粉飛散情報あり
日本林学会 http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/jfs/	
愛知県のホームページ http://www.pref.aichi.jp/	平成8年10月1日に開設
名古屋営林支局 http://plaza9.mbn.or.jp/~forest/	